

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋1-10-1六川ビル4階

TEL03-3264-6881 FAX03-3264-6882

発行日：2013年1月7日

## 明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

1月4日の大発会では日経平均株価が、300円近い上げ幅でした。12月の選挙以降景気上向きの気配をみせています。この勢いに乗っていききたいところです。

さて、今朝の日経新聞には日本は女性管理職が少ない、という記事が出ていました。

就業比率では諸外国と差が無いにもかかわらず、管理職比率になると、韓国とともに低くなります。

これは女性の能力が低く男性が高いということではありません。

子育て期の女性はパート労働であることが多く、また子どもに手がかからなくなっても、正社員として働くよりパートとして働く女性が多いためでしょう。

ここ何年かの傾向では、結婚、出産を経験しても育児休

業を取得して退職しない女性が増えてきました。

このような傾向が今後も続き、男性と同じような働き方をすれば管理職比率も必然的に上がっていくと思われれます。

GDPの半分を占める個人消費の場面では女性の意見によって決まることが多いです。それを考えれば、女性の管理職、女性労働者の意見が重要であることは明白です。

記事では、ある企業は女性管理職比率を20%に引き上げるような計画策定を義務づけた、としています。

義務づけるような問題ではないと思いますが、意図的に男性と女性の昇進に差があったならそれは是正すべきなのでしょう。

我が国の場合、組織の和を大切にするため、年少者が管理職になったり、女性が管理職になるのを避ける傾向があります。

実績より和を重んじるわけです。この考えをそろそろ変える時期に来ているのかも知れません。

正月恒例の箱根駅伝で優勝した日本体育大学は去年のシード落ちから立ち上がるために、3年生を主将に指名しました。

大学運動部の序列を考えると4年生を差し置いて3年生が主将になり、チームをまとめるというのは相当抵抗があったと思います。

しかし、結果として優勝に導いたわけですから成功といえるでしょう。

個人的には年功を重んじることを全面的に否定するつもりありません。しかし、右肩上がりの成長が続かないような時代には、実力主義の思い切った処遇も必要であるのでしょう。

そう考えれば、実力のある女性が管理職に登用されるのは当たり前になります。